

議案第六十六号

港区立御成門小・中学校の小中一貫教育校への移行について

令和五年八月二十一日

港区教育委員会

令和5年8月21日  
教育委員会議案資料 No. 4

## 港区立御成門小・中学校の小中一貫教育校への移行について

### 審議内容

教育の質の向上と、子どもたちの健やかな成長を目的として、令和6年4月から、御成門小学校及び御成門中学校を小中一貫教育校へ移行します。

### 1 背景

区は、幼児期の教育から、小・中学校の義務教育期間に至るまでの生活や学習の円滑な接続により中1ギャップ等の学校不適應を防止するとともに、教育課程の連続性を確保することで学力の向上を図り、豊かな人間性、社会性を育むことを目的として、幼・小中一貫教育を推進しています。

特に、学校間のさらなる連携の推進による教育の質の向上を目的として、「教育効果の観点から施設一体型・併設型の校舎で実施できること」及び「PTAや同窓会、地域等の賛意が得られること」の要件を満たす学校を小中一貫教育校に移行しており、平成22年4月からは、「お台場学園」、「白金の丘学園」、「赤坂学園」を順次開校してきました。

### 2 御成門アカデミー小中一貫教育校検討委員会における検討

施設一体型小・中学校の移行がすべて完了したことを受け、区は、残る区立学校において唯一、学校施設が併設し、かつ通学区域も一致する御成門小・中学校の小中一貫教育校への移行検討を開始し、令和5年4月には保護者や地域の代表者、学校長、教育委員会事務局職員で構成する検討委員会を設置しました。

令和5年4月から6月にかけて3回にわたり開催した検討委員会においては、移行する目的や移行後の活動イメージ、懸念事項への対応等を共有し、移行することについて大勢の賛意を得ることとなりました（別紙）。

### 3 小中一貫教育校への移行について

御成門小・中学校の連携・協力をこれまで以上に推進し、小・中学校それぞれの教員の相互理解を深め、教員一人ひとりの指導力を高めることで教育の質の向上を図るとともに、異年齢交流を促進し、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育み、健やかな成長につなげることを目的に、両校を小中一貫教育校へ移行します。

両校は既にこれまでの連携・協力の実績があるとともに、施設環境も整っていることから、令和6年4月から移行することとします。

#### 4 名称

検討委員会での議論も踏まえ、すでに小学校・中学校が同一の名称としている「御成門」を称することが分かりやすく、親しみやすいことから「港区立小中一貫教育校御成門学園」とします。（「港区立学校の管理運営に関する規則」一部改正）

#### 5 今後のスケジュール（予定）

令和5年9月上旬	区民文教常任委員会
9月中旬	在校生保護者周知
10月上旬	新入生の学校選択希望票送付
10月中旬	新入生向け学校説明会
12月	教育委員会（規則改正審議）
令和6年4月	小中一貫教育校開校

## 御成門アカデミー小中一貫教育校検討委員会の検討経過について

## 1 検討委員会の構成

学校運営協議会委員（学校長、学識経験者、PTAや地域の代表者等）に愛宕一之部連合町会会長、教育委員会事務局及び総合支所の関係管理職職員（学校教育部長、学務課長、学校施設担当課長、教育指導担当課長、芝地区総合支所管理課長）を加えたメンバーで構成

## 2 検討委員会の開催状況

回	日程	主な議題
第1回	R5.4.25	・ 小中一貫教育校の概要等について ・ 今後のスケジュールについて
第2回	R5.5.22	・ 御成門小・中学校の小中一貫教育校への移行について ・ 第1回検討委員会等でいただいたご意見について
第3回	R5.6.29	・ 御成門小・中学校の小中一貫教育校への移行について ・ その他（学園名について）

## 3 検討委員会でいただいた主なご意見

- ・ 地域の学校で得た付き合いは、非常に貴重なもので大きな財産となる。地域としても盛り上げていきたい。
- ・ 消防少年団の活動を見ている、幅広い年代の交流の中で、年少者が年長者にあこがれを抱いたり、年長者が思いやりの気持ちを持って年少者に接したりする姿は大変微笑ましく、縦のつながりの大切さを感じる。
- ・ 新しいことを始める際は、誰もが不安を感じ、大変なことや問題も出てくるとは思うが、わくわくする取組だと思ふ。
- ・ 目的を明確化するとともに、小中一貫教育校となることで変更になる事項等を丁寧に保護者に説明してほしい。
- ・ 校長が1人になった場合においても、緊急時等に迅速・確実に対応ができる体制を整えてほしい。
- ・ 小・中学校の施設を共用する機会が出てくることを踏まえ、施設の安全面を改めて確認してほしい。
- ・ 教職員の業務負担が増えることのないように取り組んでほしい。
- ・ 小中一貫教育校となることで、一貫校以外の中学校に行けない、一貫校以外の小学校からは中学校に入れれないといった誤解が生じ、児童数や生徒数が減少するようなことがないようにしてほしい。